

【三浦貴裕さんへのメッセージ等、アンケートより】

2021年3月6日(土)開催  
生活協同組合パルシステム東京

東日本大震災から10年「3.11」を忘れないシンポジウム」宮城から想いを届けます

- ・あの日の事実と今を知ることができました。世の中が落ち着いたら是非三陸に伺います。
- ・これから未来を創る若い人が、同世代を対象に活動を続ける意味の大きさを実感しています。頑張ってください。
- ・多感な時期に大変な経験をされ、その後も自分のことで精一杯であってもおかしくないのに、語ることを続けていただきありがとうございます。当時中学生だった方が、今、社会人として活躍されているのをこうして実際に目にすると、月日を感じるとともに、この10年間の皆さまの生活がどのようなであったかと考えさせられます。若い世代の当事者の方のお話を直接伺う機会をいただきありがとうございました。
- ・紙一重で助かってよかった。若いのにしっかり話され、感銘を受けました。
- ・石巻に災害ボランティア活動に行った際に、三陸町の被災の状況を視察したことがあります。その頃の様子を思えば随分整備が進んだのだなあと思いながら現地の様子を拝見させていただきました。若い人達がこれからの街づくりを頑張っている姿に心温まる思いでした。ありがとうございました。
- ・若者らしい未来に向けた力強いメッセージでした。今後もパルシステム東京との繋がりをよろしくお願い致します。
- ・貴重なお話ありがとうございました南三陸の様子がかがえて嬉しかったです去年は行けませんが、今年は綺麗になった公園を見に行けたらなあと思ってます
- ・ご自分の体験を自らのみで留めず語り部活動を今後も続けていただきたいと思います。今首都圏から地方に住まいを移す若者が増えています。南三陸町の魅力も発信して新たな居住者も呼び込んでください。
- ・話すことで、ご自身の整理につながったとおっしゃっていたことが印象に残りました。現地様子を撮影して映像で見せてくれてよくわかりました。ありがとうございました。
- ・映像で当時の様子と現在の様子を伝えていただき、ありがとうございました。ちょうど、南三陸の語り部バス(NHK)をみたところだったので、中学校の様子、避難の様子、よりイメージできました。これからもささやかながら応援しております。

・普段の防災教育以上の津波災害の経験から、同じ経験をした仲間たちと一緒に、地震や津波の語り部だけでなく、地域文化や歴史を発見する活動につなげている姿勢が素晴らしいですね。

・大震災という辛かっただろう経験があったにも関わらず、あんなにもしっかりとした大人になれるとは…すごい。我が息子と同じ年齢とは思えない。これからも伝えていって下さい。

・天災に遭遇してからの立ち直りです。頑張ってください。

・語り部として、体験を同世代に伝える。チリ地震での津波の教訓が、生きている今がある。次世代に伝える事は、語り部として風化させず、伝えて行くことが大切なことと思いました。

・14歳で震災を体験なされ、それを語り部として伝えてくださりありがとうございます。震災が風化されないように若い方が、こうして語り継いでくださることを嬉しく思いました。

・三浦様 お話を聞かせていただきありがとうございました。三浦様の活動や存在は世代を超えた多くの方々を元気付けている事と思います。私もお話を聞いていてエネルギーが湧いてくる様に感じました。そして南三陸の事ももっと知りたいなと思っています。街づくりの担い手として、これからのご活躍を陰ながら応援しております。

・実際に震災を体験した若い方が、地元で活動をされていることに感動しました。震災を風化させることなく、ずっと心を寄せていくことが必要だと思いました。

・非常時に中学生で救助活動をされたこと、そして20代で意見と使命感を持って活動されていて、とてもしっかりされていて驚きました。身近な子どもたちと何が違うのだろう。。きっかけがあれば変わるのか…。コロナが明けたら家族で南三陸に行きたいです。がんばってください！語り継ぐ、記録に残すことは大事ですね。震災を経験していない子どもたちにもぜひ伝えてください。

・しっかり前を向いて、同世代の若者と独自の語り部活動をされている姿に感動しました。三浦さんのような若者が育っていることは、素晴らしいことです。勇気づけられると同時に、私たち年配者も頑張らねばと思いました。未来に明るさを感じさせていただき、嬉しい限りです。ありがとうございました。これからも新しいことにチャレンジしてください！

・三浦さん、本日はありがとうございました。三浦さんの語り部、とても貴重です。大切です。これからもずっと話し続けてみんなの心にとどまり、震災のことを忘れないように。どうぞよろしく願いいたします。

・たくさんの現実、被害の様子、瀬戸際の決断を見てきて、次につなげ発信していただきありがたいと思いました。風化させてはいけない様々な形で発信し、行動してください。

・語り部としての活動が認識の変化に合わせて色々発展しているのが分かりました。また写真や動画で現地の様子が見られたのが良かったです。震災以降まだ一度も東北へ行ってないので、行けるようになったら家族で行きたいです。今回のオンラインも気軽に参加できて良かったです。パルの交流ツアーが復活したら良いと思います。

・三浦貴裕さま、貴重なお話をありがとうございました。南三陸には、毎夏に伺うのがせめてもの行動でした。この時節訪ねることも許されず、今日のお話や映像がとても有り難く、復興工事で毎年変わる景色に出会えてはやく行きなくなりました。三浦さんの活動が、地元やこのように他県にも全国にも根付いて行ってほしい!遠く応援させていただきます。

・パワーポイントの色調が明るく、未来への希望を感じました。中学時代の貴重な経験を大切にされ、今後の一層のご活躍を期待します。ありがとうございました。

・動き出す事で多くの人々との出会いがあった。そこに至るまでに様々な痛みもあったと思います。お話しください、ありがとうございました。規模の差こそあれ、災害がどこで起こってもおかしくないことを心に留めて自分たちに出来る事を考えていこうと思います。

・年月がたち、新たにいろいろなことが起こる中で忘れかけていたことを思い出させていただきました。たくさんの犠牲のうで得たさまざまな貴重な教訓をいかさないという選択肢はないですね。

・お若いのに素晴らしい活躍をなさっておられて感動しました。お命が助かってよかったですね。よかったですね。とてもイケメンですね。

・若い方が、地元に戻り町づくりに携わっていくことは将来につなげていくことだと思います。とてもうれしいです。

・多感な時期に津波の恐ろしさを体験し、その後、若手の語り部として活躍なさっておられ素晴らしいの一言。年月による風化を防ぐべく今後の継続も期待致しております。

・高橋徳治商店の社長とは対照的に淡々とお話される三浦さんの姿勢が印象的でした。きっと語り部の経験と三浦さんのもともとの気質でいまの表現方法に辿り着いたのだと推測しました。ただ、いつか南三陸を訪れてみたいという気持ちの一方、コンクリートで囲まれた写真を見ると寂しい気持ちにもなりました。三浦さんはいまの故郷をどう感じていらっしゃるのかが、気になりました。人の繋がりはどうリンクするのが気になります。

・過酷な状況を経験なさり、今に伝え様となさるお話しに感服しました。  
どんな記録映像よりも直のお話の力は例えようもありません。どうもありがとうございました。

・中学生の時に被災され、語り部を続けていらっしゃることを頼もしく感じました。  
つらい事は人間忘れてしまいたいのが常だと思います。しかし悲しみを繰り返さないためには、忘れてはいけないことがあり、それを後世に伝えるのは大事なことです。そして聞いた私たちも、さらに色々な人に伝えて広めていくお手伝いが出来たらと思います。

・お辛い記憶に向き合いながらも、爽やかにお話くださり、とても誠実なお気持ちが伝わってきました。お話しも上手で、もっと聞いていたかったです。これからも語り部としてのご活躍をお祈りしております。ありがとうございました。

・中学生で体験したことを、語り部として同年代に伝える活動をされているのはすばらしいと思います。これからも積極的に活動してください。

・とても参考になりました。

・東京からコロナ感染のため、被災地へ支援に行くこと出来ない私たちに、地元の様子をリモートを活用して沢山発信して下さい。若い力でお年寄りの人たちの力になってあげて！

・震災は大変なことであつたけれど、誰もがぶつかるものではない。そのなかで自分の役目！を見つけて活動している姿に力をもらいました。

・お若いのにしっかりされて頼もしかったです。親や祖父母の代が築き守ってくれたものをさらに生まれ変わらせる、って言い方が適切か分かりませんが、仮に形が変わったとしても想いは同じだと思うし、若いみなさんがいいと思うやり方で元気を集めていってもらえたらと思います。毎年南三陸に遊びに行っていたので、また早く行きたいです。

・被災当時中学生だった三浦さんが、高校生になって仲間と一緒に“語り部”活動を始めたという行動力がすごいです。これからも良い出会いや繋がりが続いていきますように！

・「実際に行動」そこから来るのでしょうか、足が地に着いた強さを感じました。もう少し時間があれば、インフラ的には整備されつつある中で「これからに対して思うことや考えること」をもう少しお聞きしたかったなと思います。

・この度はお話しいただきありがとうございました。当時 14 歳だった三浦さんが震災を伝える語り部の活動をされ続けていること、本当に素晴らしいと思いました。ご自身のつらい経験を自分自身が伝えていこうと決めて始めた行動力も素晴らしいです。廣重先生もおっしゃっていましたが 24 歳とは思えないくらいしっかりされたお考え、志を持った方だなと感じました。これからも若い世代へ伝え続けてほしいと思います。

・当時中学生の三浦さん、生涯震災のことが離れることはないのではと、重いものを背負わされ過ぎないよう若い青年の日々を謳歌されていますように☆。その上で、これからのご活躍を心より願っております。

・三浦さんのお話を聞いて、若いエネルギーを感じずにはられません。希望の星です。いつ起きてもおかしくないといわれる直下型地震の不安の中に暮らす私たちにも、お話を聞いて、灯がともったように思いました。

・語り部として活動されている若い方のお話が聞けて貴重な機会でした。ありがとうございました。

・テレビで見る震災時の映像の裏側にはどれだけの事があるのか、被災された方のお話を聞く度に思いを巡らし胸が痛みます。震災当時、中学生の生徒達が人の命を救おうとしていた姿が目につかびます。忘れてはいけない事だと思います。どうぞ語り続けていって下さい。

・トークセッションとても興味深く拝聴いたしました。時間の流れの中で、語り部としての活動内容が進化していることがわかりました。また、実際に語り部をしながら多くの気付きがおありだったことも伝わりました。三浦さん達だからこそできることに対して、前向きに取り組んでおられることを学校(中学校・高等学校)の生徒向けにご講演いただきたいものです。

・若い力でどうぞこれからも継承・チャレンジをしてくださいますよう応援しています。

・災害時に、中学生であっても何をすべきか判断し行動できることを伝えていって欲しいと思います。

・14歳の時に被災された体験を、“同世代に伝えたい”と語り部や南三陸ツアーなど活動される中で、“対話をする”ことを大切に、東北や参加者の故郷を想う機会を作られていることに共感しました。コロナが終息したら南三陸町に行きたいです。

かえぼう!!

